

あおしん レポート

ミニディスクロージャー誌 兼業務報告書

2025年4月1日～2026年3月31日

First Call Aoshin

～「ありがとう」を よろこびに～



青木信用金庫





理事長 木滝 崇弘

ごあいさつ

平素より青木信用金庫に格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

あおしんレポートでは、2025年度の当金庫の活動内容や経営実績をご報告いたします。是非、ご高覧いただき、率直なご意見をいただければ幸いです。

さて、当金庫では、2024年度より6年間の中期経営計画をスタートさせ、職員一人一人が、『First Call Aoshin ～「ありがとう」をよろこびに～』を合言葉に、お客様の悩みに寄り添い、その解決に向けて全力で取り組んでおります。

2026年度も、取引先を取り巻く事業環境は、インフレや人手不足に加え、中東情勢による原油高騰により、厳しく、不確実性の高い状況が続くと想定されます。当金庫は、心のかよう金融サービスを通じて、取引先や地域の健全な発展に貢献するとともに、「あおしんに相談してよかった」「あなたが担当でよかった」の声が返ってくる活動を地道に続けてまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当金庫の概要

本部 川口市中青木2丁目13番21号
設立 1948年6月1日
出資金 38億円
会員数 52,796名
店舗数 37店舗
 (店舗内店舗を除く実店舗数30店舗)
常勤役職員数 510名

営業地区

埼玉県 川口市、さいたま市、蕨市、春日部市、越谷市、草加市、戸田市、和光市、久喜市、八潮市、三郷市、蓮田市、白岡市、上尾市、朝霞市、志木市、桶川市、富士見市、新座市、幸手市、所沢市、川越市、ふじみ野市、北本市、鴻巣市(旧北足立郡吹上町、旧北埼玉郡川里町を除く)、坂戸市、鶴ヶ島市、吉川市、北足立郡伊奈町、入間郡三芳町、比企郡川島町、南埼玉郡、北葛飾郡
 東京都 板橋区、北区、足立区、葛飾区、清瀬市

(2026年3月31日現在)

詳細な店舗情報はホームページで、ご確認いただけます。

<https://www.shinkin.co.jp/aoshin/about/branch/>



経営理念

あおしんは心のかよう金融サービスを通じて

1. 地域の中小企業の健全な発展に貢献します。
1. 地域の人々の豊かな家庭づくりに協力します。
1. 地域社会の発展のために奉仕します。

長期ビジョン

First Call Aoshin

～「ありがとう」を よろこびに～

◇「First Call Aoshin」

職員一人一人がお客様や地域の「ありがとう」の声を喜びとする活動が続けることにより、「まず、あおしんに相談してみよう」と思っただけの信用金庫を目指します。

◇サブビジョン

1. お客様と地域の「ありがとう」の声をゴールとする金庫

地域のお客様と地域社会の様々な課題に対して、解決に向けたコミュニケーションを大切に活動を行い、そのゴールを地域のお客様と地域社会の「ありがとう」の声とすることで、『「ありがとう」の声をゴールとしていくあおしん』

2. 全ての職員がやりがいを感じ続けることができる金庫

計画的な人材育成の実施により、多様な人材が活躍できるように「人づくり」に徹すると共に、職員の主体性の尊重により、誰もが前向きに挑戦できる環境を整えることで、「職員一人一人が高い使命感を持って働き続けることができるあおしん」

3. 健全経営を続けることができる金庫

社会や環境の変化に適応していくと共に、今までのやり方にとらわれない営業体制、店舗運営体制を確立し、お互いを思いやる職場風土を大切にしながら、毎年適正な利益を継続的に積み上げることで、「成長を続けるあおしん」



青木信用金庫SDGs宣言

2023年3月

青木信用金庫は、国連において採択されたSDGsが目指す取組みに賛同し、「地域経済」「地域社会」「地域環境」「人々」の4つを重要なテーマとし、地域と人々の未来に向けて全力で取組み、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

理事長 木滝 崇弘

トピックス

地域経済



■経営支援メニュー

青木信用金庫では、お客さまの経営課題解決に向けた情報のご提供やご提案をさせていただきます。



ホームページからもご相談いただけます。

https://www.shinkin.co.jp/aoshin/cgi-bin/_custom/custom.cgi?paramtext=desk/settings.txt

■工場視察を実施

お客さまを訪問し、現場を実際に見ることの大切さを理解するため、工場視察をお取引先にご協力をいただき実施しました。職員の意識向上を図ることができました。



■新現役交流会の開催

8月21日に大企業のOB等で豊富な経験を持つ方々と、取引先企業の課題解決の機会として、第12回新現役交流会を開催しました。



■サテライト・ゼミの開講

若手経営者・後継者・経営幹部の方々を対象にして、第11期あおしん次世代経営塾(サテライト・ゼミ)を9月18日に開講し、3回にわたり勉強会を実施しました。



■職員向け食品等販売会の実施

就労継続支援B型の事業所の方が出張販売を行うセルフバザール(職員向け食品等販売会)を9月26日および3月19日に本部にて開催しました。



■「北陸復興支援旅行」の実施

11月10日から川口信用金庫との共同企画で実施しました。「被災地見学」、「即売会」を通じて被災地の現状と北陸の魅力を実感していただき、また両金庫より七尾市と能登町に義援金を寄付いたしました。



■地域貢献セミナーの開催

11月19日にNHK大相撲解説者の舞の海秀平氏を講師にお迎えし、「小よく大を制す」をテーマにご講演いただきました。



■新春経済セミナーの開催

2月16日に川口駅前市民ホール「フレンディア」において、「自社における生成AIの活用を考える」をテーマとした第14回新春経済セミナーを開催いたしました。



■マネースクールの実施

地域の将来を担う児童を対象に、早い段階で金融知識を習得してもらうことなどを目的としたマネースクールを、川口信用金庫と協力して実施しました。2025年度は、川口市内の小学校15校と1つの施設で行いました。



■小学校子ども見守り活動

地域のお子さまの安全確保のため、小学校の下校時に見守り活動を行っています。地域の町会の方々と連携して、毎月4回実施しています。



■新入職員の詐欺被害防止活動

4月11日に2025年度新入職員22人が、川口駅前で特殊詐欺被害防止の啓発活動を行いました。埼玉県川口警察署の署員の方にご協力いただきながら、チラシを配布し、注意を呼びかけしました。



■フコクしんらい生命と共同寄付の実施

フコクしんらい生命と法人定期保険の販売を通じて、地域社会に還元するSDGsに取り組んでいます。「川口市社会福祉協議会」に販売件数に応じた寄付を行い、7月16日に共同寄付贈呈式を行いました。



■足立支店、指扇支店 グランドオープン

9月8日に足立支店、2月18日に指扇支店の新築移転を行いました。建物は環境に優しく、ストレス軽減効果もある木造建築で、お客さまにも職員にも過ごしやすい店舗となっています。



足立支店

指扇支店

■「こどもの笑顔Happyフェスタ」に協賛

11月22日に行われた「第4回こどもの笑顔Happyフェスタ」に協賛しました。食品配布や職業体験等を通じて、子どもからはじまる人との絆を深めるもので、当金庫もお買い物体験などができるブースを出展しました。



■フードパントリーの 取り組みに協力

食品支援が必要な家庭に無償で食品を配付する「フードパントリー」の取り組みに協力しています。1月20日から2月20日に、役職員から食品等を募り、川口子育て応援フードパントリー連絡会に寄贈しました。



■医療機関への寄贈

地域の方々の健康な暮らしを後押しできるよう、済生会川口総合病院へ「ノートパソコンおよびナースカート」を3式、川口市立医療センターへ「輸血ポンプ」を10台寄贈いたしました。



■エコライフDAY2025に参加

地球温暖化防止のため市民がCO₂削減に取り組む「エコライフDAY2025」が、6月8日に川口市主催で行われました。金庫職員も252人が参加し、234kgのCO₂削減が認められました。



■電力使用量削減の取り組み

信用金庫業界では、地球温暖化対策のため、電力使用量削減に関する自主行動計画を策定しており、2009年度を基準年度とし、2030年度末に19%の削減を目標としています。



■エコカー購入資金の 割引金利適用

自動車購入資金を利用される方のうち、エコカーをご購入されるお客さまには、別途割引金利を設けています。2025年度は、95件、276百万円を実行いたしました。



■㈱NEXYZ.と業務提携

企業の設備投資をサポートするサービスを展開する㈱NEXYZ.と提携しています。脱炭素化を経営課題とするお取引先へLED照明導入によるCO₂排出量削減を支援いたします。



■たたら祭り

「流し踊り」に参加

8月23日、24日に川口市恒例の「第45回たたら祭り」が開催され、「たたら流し踊り」に青色のポロシャツとおおしんマーク入りの帽子を着用した職員55名が参加しました。



■観劇の集いの開催

7月8日に第28回あおしん年金友の会「観劇の集い」を明治座にて開催しました。当日は約1,000名の方にご参加いただき、「歌手生活60年五木ひろし特別公演」をお楽しみいただきました。



■「埼玉baseballフェスタin川口」へ協賛

用具持参不要で誰もが気軽に野球を体験できる「埼玉baseballフェスタin川口」が1月18日に川口市営球場で行われました。当金庫も協賛し、野球部が運営に協力しました。



■卓球練習会へ協賛

12月6日に開催された川口市卓球連盟によるジュニア強化練習会に協賛しました。当金庫は、埼玉県を拠点とする卓球チーム「T.T彩たま」の金融機関パートナーになっており、所属選手をお招きし、練習会に協力しました。



■子育て・女性活躍を支援

当金庫は、子育てサポート企業として、2024年10月11日に「プラチナくるみんプラス」を、女性の活躍推進に関する取り組みが優れた企業として、2024年9月25日に「えるぼし☆☆」を取得しています。職員が働きやすい職場環境づくりに努めています。



■健康経営優良法人2026に認定

当金庫は、職員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取り組みが評価され、2026年3月9日に「健康経営優良法人2026(大規模法人部門)」の認定を受けました。



■ジュニアボードの組成

2025年度も、若手から中堅職員が、金庫の将来を考え経営に提言を行う「ジュニアボード」を実施しました。実施は、2022年度から4年連続となります。ジュニアボードメンバーからの提言は、2026年度の事業計画に反映しました。



■本部トレーニー・スクールの実施

2025年度は、「人財育成プログラム」の一環として、「手掛け式による少人数での本部トレーニー・スクール」を実施しました。職員個人のキャリアパス・プランの形成に加え、部門横断的な職員同士の相互理解も深まりました。



■「ロールプレイング大会」の実施

より多くの職員が、お取引先の悩みに寄り添い、解決手段を提案できるよう、金庫内でロールプレイング大会を実施しました。今後とも職員のレベルアップを通じて、「まず、あおしんに相談してみよう」と思ってもらえる人財の育成に努めてまいります。



■若手職員の採用活動参加

新卒採用では合同企業説明会に若手職員が参加し、入庫の経緯や業務の内容、職場の雰囲気や仕事のやりがいなどを直接学生に伝えました。年代の近い職員との交流により、学生も信用金庫の魅力を感じ取れたようです。



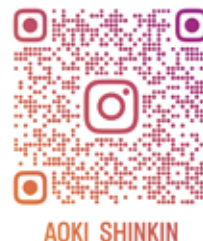
■金庫オリジナルキャラクターの作成

職員の発案により、当金庫のオリジナルキャラクター「くまおちゃん」を作成いたしました。2026年度に本格的にデビューとなります。未永く皆さまに愛されるようなキャラクターに育ててまいります。



■Instagramの運用開始

2025年12月30日に、Instagramに金庫の公式アカウントを作成し運用を開始しました。2026年度も、普段は見えない職員の仕事風景や裏側、地元企業や地域のイベント情報を発信してまいります。是非、一度ご覧ください。



その他

業績ハイライト 2026年 3月期

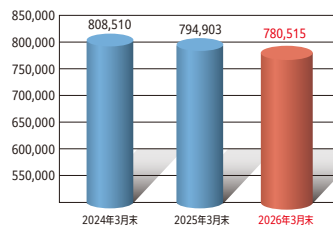
1 預金積金

預金残高は、7,805億円となりました。

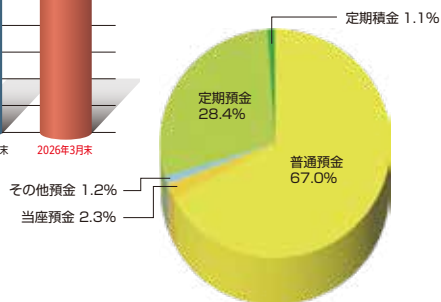
地域のお客さまの大切な財産を安全、確実に預かりしています。

■ 預金積金(3期比較)

(単位:百万円)



■ 預金積金の科目別内訳



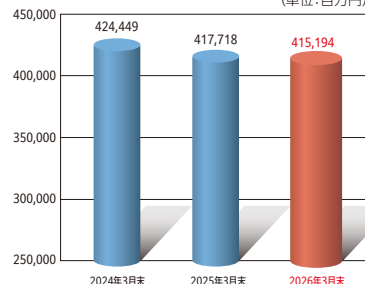
2 貸出金

貸出金残高は、4,151億円となりました。

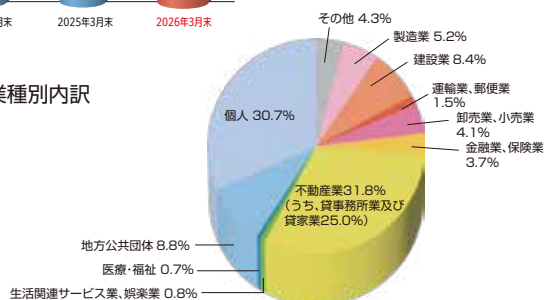
地域のお客さまの様々な資金ニーズにお応えしています。

■ 貸出金(3期比較)

(単位:百万円)



■ 貸出金の業種別内訳



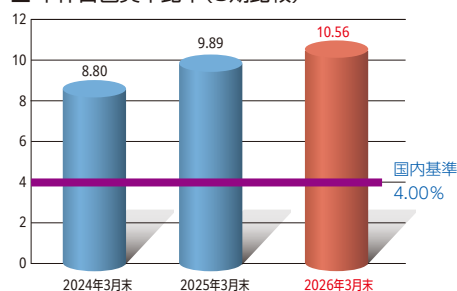
3 自己資本比率

自己資本比率は、10.56%となりました。

2026年3月末の自己資本比率は、前期より0.67ポイント上昇し、10.56%となりました。

■ 単体自己資本比率(3期比較)

(単位:%)



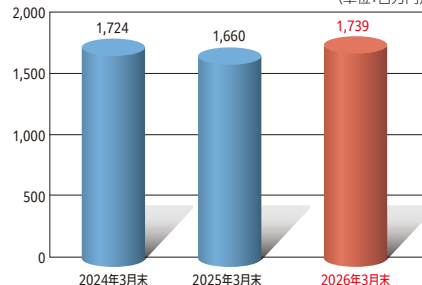
4 コア業務純益(除く投資信託解約損益)

コア業務純益は17億円を計上しました。

本業での収益力を強化し、安定した利益を確保しています。

■ コア業務純益(3期比較)

(単位:百万円)



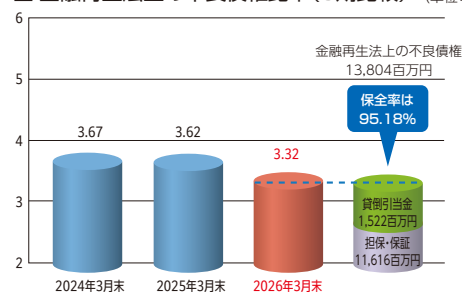
5 金融再生法上の不良債権比率

金融再生法上の不良債権比率は3.32%となりました。

不良債権額は前期比13億円減少し、比率では0.30ポイント低下しました。

■ 金融再生法上の不良債権比率(3期比較)

(単位:%)



財務諸表

貸借対照表 2026年3月31日現在

(単位:百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現 金	6,002
預け金	231,201
買入金銭債権	1,001
有価証券	135,795
国債	24,243
地方債	11,998
社債	41,859
株式	129
その他の証券	57,565
貸出金	415,194
割引手形	2,109
手形貸付	15,340
証書貸付	388,391
当座貸越	9,352
その他資産	5,314
未決済為替貸	325
信金中金出資金	3,674
未収収益	809
その他の資産	504
有形固定資産	13,096
建物	2,598
土地	9,940
リース資産	137
その他の有形固定資産	420
無形固定資産	639
ソフトウェア	451
その他の無形固定資産	187
前払年金費用	192
繰延税金資産	1,709
債務保証見返	190
貸倒引当金	△ 1,701
(うち個別貸倒引当金)	(△ 1,515)
資産の部合計	808,635

科 目	金 額
(負債の部)	
預金積金	780,515
当座預金	17,895
普通預金	523,273
貯蓄預金	957
通知預金	380
定期預金	221,819
定期積金	8,318
その他の預金	7,870
借入金	1,525
借入金	1,525
その他負債	2,040
未決済為替借	405
未払費用	532
給付補填備金	5
未払法人税等	251
前受収益	173
払戻未済金	61
職員預り金	274
リース債務	64
資産除去債務	52
その他の負債	218
賞与引当金	177
役員退職慰労引当金	95
睡眠預金払戻損失引当金	7
偶発損失引当金	22
再評価に係る繰延税金負債	1,161
債務保証	190
負債の部合計	785,736
(純資産の部)	
出資金	3,862
普通出資金	3,862
利益剰余金	27,891
利益準備金	3,924
その他利益剰余金	23,967
特別積立金	21,000
(次期システム対応積立金)	(300)
当期末処分剰余金	2,967
会員勘定合計	31,754
その他有価証券評価差額金	△ 11,189
土地再評価差額金	2,335
評価・換算差額等合計	△ 8,854
純資産の部合計	22,899
負債及び純資産の部合計	808,635

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	金 額	
経常収益		10,768,811
資金運用収益	9,426,442	
貸出金利息	6,102,114	
預け金利息	1,225,887	
有価証券利息配当金	2,007,213	
その他の受入利息	91,227	
役務取引等収益	1,161,306	
受入為替手数料	464,714	
その他の役務収益	696,592	
その他業務収益	17,703	
その他の業務収益	17,703	
その他経常収益	163,358	
貸倒引当金戻入益	161,310	
償却債権取立益	55	
株式等売却益	334	
その他の経常収益	1,658	
経常費用		9,109,060
資金調達費用	1,519,596	
預金利息	1,507,654	
給付補填備金繰入額	6,139	
借入金利息	4,437	
その他の支払利息	1,365	
役務取引等費用	913,963	
支払為替手数料	150,714	
その他の役務費用	763,249	

科 目	金 額	
その他業務費用	301,810	
国債等債券売却損	299,070	
国債等債券償還損	323	
その他の業務費用	2,416	
経費	6,290,175	
人件費	3,949,926	
物件費	2,121,756	
税金	218,492	
その他経常費用	83,514	
貸出金償却	1,339	
株式等売却損	1,673	
その他の経常費用	80,500	
経常利益		1,659,751
特別損失		22,501
固定資産処分損	22,501	
税引前当期純利益		1,637,249
法人税、住民税及び事業税	324,880	
法人税等調整額	112,755	
法人税等合計		437,635
当期純利益		1,199,614
繰越金（当期首残高）		1,767,539
当期末処分剰余金		2,967,154

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

第78期剰余金処分

2025年4月1日から2026年3月31日まで (単位:円)

科 目	金 額
当期末処分剰余金	2,967,154,064
積立金取崩額	61,672,000
利益準備金限度超過取崩額	61,672,000
合 計	3,028,826,064
剰余金処分額	1,077,252,030
利益準備金	0
普通出資に対する配当金 (年 2%)	77,252,030
特別積立金	1,000,000,000
(次期システム対応積立金)	(100,000,000)
繰越金 (当期末残高)	1,951,574,034

以上の通りであります。 2026年6月

青木信用金庫

理 事 長	木 滝 崇 弘	常勤理事	西 信 之
専務理事	井 上 勝 彦	常勤理事	金 子 誠
常務理事	森 本 実	常勤理事	比 羅 岡 淳
常務理事	太 田 正 喜	理 事 長	堀 雅 一

以上監査の結果、適法かつ正確であることを認めます。

常勤監事	井 上 浩 孝	監 事	伊 藤 浩 一
監 事	庄 野 孝	(員外監事)	

庶務の概要

総代会

2025.6.27
第77期通常総代会をロイヤルパインズホテル浦和において開催し、報告事項に続き下記の議案を承認可決しました。

【報告事項】
第77期業務報告、第77期貸借対照表、第77期損益計算書報告の件

【決議事項】
(1) 第77期剰余金処分案承認の件
(2) 会員除名の件
(3) 理事選任の件
(4) 退任役員に対する退職慰労金贈呈の件

主な庶務事項

2025.4.23
出資総口数及び払込んだ出資総額の変更登記をしました。

2025.6.27
理事1名の退任に伴い、新たに理事1名比羅岡淳が選任されました。また、専務理事に井上勝彦、常務理事に太田正喜が就任しました。



シンボルマークに 込めた思い

“あおしん”（AOSHIN）のAと
“青木”の木を組み合わせ、
木が大きく成長していくイメージを表現し、
地域とともに発展していく思いを込めています。
また、周りの円の形状と信頼をイメージした青色が、
お客様や地域に寄り添った円満な結びつきと、
職員相互の円滑な結びつきを表現しています。

お客様の声をお聞かせください

当金庫では、会員の皆さまの忌憚のないご意見を、今後の経営
や業務に活かしていきたいと考えております。
ご意見・ご要望等がございましたら、下記の相談窓口にご連絡
ください。

平日(当金庫休業日を除く)9:00 ~ 17:00

青木信用金庫 お客様相談窓口

☎048-251-8717

また、金庫ホームページからも
お知らせいただけます。

[https://www.shinkin.co.jp/aoshin/cgi-bin/_custom/
custom.cgi?paramtext=opinion/settings.txt](https://www.shinkin.co.jp/aoshin/cgi-bin/_custom/custom.cgi?paramtext=opinion/settings.txt)



出資金に関するお問い合わせ

平日(当金庫休業日を除く)

9:00 ~ 17:00

青木信用金庫

☞各営業店へお問い合わせ
ください。



本冊子はスマートフォンやパソコン
からご覧いただけます。

【あおしんレポート web 版】

[https://www.shinkin.co.jp/aoshin/
about/disclosure.html](https://www.shinkin.co.jp/aoshin/about/disclosure.html)



この印刷製品は環境に配慮した
ベジタブルインク(植物油インク)
で印刷されています。